

貝塚市緑の基本計画（素案）に関するパブリックコメント結果

募 集 期 間：令和6年2月25日（日）から令和6年3月11日（月）

閲 覧 場 所：公園緑地課（市役所5階）、山手・浜手地区公民館、市のホームページ

意 見 提 出 方 法：郵送、ファクス、Eメール、持参

提出人数及び意見数：3名から、合計3件のご意見をいただきました。

お寄せいただいたご意見についての本市の考え方は以下の通りです。

また、お寄せいただいたご意見については趣旨を損なわない範囲で一部要約している部分があります。

番号	項目	頁	意見の概要	回答
1	計画の推進体制	74	「(仮称)貝塚みどりの未来会議」の組織形態について、法律等に基づく法定組織とするのか、民・産・学・官の任意組織とするのか明記されていない。進行管理を担う組織のようなので、どのような権限を有する組織なのかお尋ねしたい。	「(仮称)貝塚みどりの未来会議」について、具体的な仕組みにつきましては今後検討を進める予定ですが、市民の皆様をはじめ様々な主体間での交流の場・機会となることを期待するものであり、法律等に基づく法定組織とすることは想定しておりません。
2	立地適正化計画について	—	共働き世帯で子育てをしていこうと考えている。澤地区では住宅が増えており、南海二色浜駅では改札口が新設されると聞いているが、子育て施設が少ない状況であり、二色の浜公園や南海二色浜駅あたりに保育園や児童館などを作ってほしい。子どもたちの散歩コースとして二色の浜公園を散歩することができ、みどり・自然を育む勉強ができると思う。	保育園や児童館の設置については、本パブリックコメントでは回答を差し控えさせていただきます。 二色の浜公園の活用については、公園管理者である大阪府と連携しながら、子ども達がみどりとふれあえる機会の創出に向けて、今後の参考とさせていただきます。
3	その他	p2, 6 など	みどりよりも、耐震、防災に予算を割いてほしい。貝塚市は木造住宅が多く、広い公園や自治体の避難所も手薄であり、防災計画も見直されていないと思う。南海トラフへの危機感を持ってほしい。避難所にするための防災公園は良いと思う。	ご指摘の通り、p6<改定の視点>、「①防災・減災への意識の高まりへの対応」に示すように本市としても南海トラフや近年の災害の激甚化・頻発化に対する危機感を持って取り組んでいく必要があると考えております。そのため、p2「みどりの役割」に示すように、みどりが担う役割のひとつとして「防災」は重要と考えておりますので、いただいたご意見を参考に、みどりの視点から必要な防災・減災対策に取り組んで参ります。